

予算	款	項	目	決算書	
	3	2	5	166	頁

目名
老人施設管理費

事業名称
老人施設管理事業

1. 概要

目的	概ね65歳以上の方で家族の援助が困難な状態で、孤立した生活に不安がある方に居住の場所を提供し安心して生活ができるように支援する	対象	独立した生活に不安のある65才以上の高齢者
事業概要	○高齢者福祉施設整備事業 ・支援ハウス等の施設は指定管理制度により市社会福祉法人へ委託		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	使用料	一般	
経常	高齢者福祉施設整備事業	支援ハウス (入居者 34名) 委託料	28,790	28,327			1,215	27,112	3
計			28,790	28,327	0	0	1,215	27,112	

2. 指標設定

成果指標	指標名	生活支援ハウス入所者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	35人			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の高齢者や障がい者がいきいきと生活できるよう支援する			
活動指標	指標	a	入所施設数	b		c		d
	数値	目標	4ヶ所	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
生活支援ハウス入所者数	人	35	33	34
	%	100.0	94.3	97.1

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 入所施設数	ヶ所	4ヶ所 100.0%	4ヶ所 100.0%	4ヶ所 100.0%
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
支援ハウスは、入所すれば退所要件の方でも、退所が見込めず長期利用となっている。入所者対象者収入が120万円以下は、居室使用料が0円となっている。
対応（改善点等）
入所者の措置継続有無のケース会議の実施。入所者対象者収入が120万円基準を下げる等検討する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

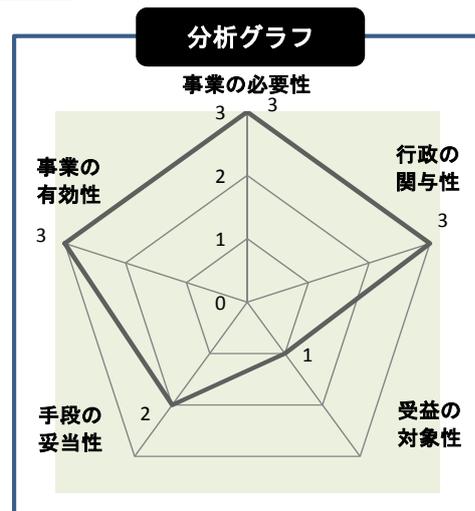
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		39,500	51,384	28,327	28,615
うち経常経費		39,500	27,942	28,327	28,615
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	2,055	2,015	1,215	1,078
	一般財源	37,445	49,369	27,112	27,537
うち経常		37,455	25,927	27,112	27,537
事業費に係る人件費		1,075	859	1,308	1,331
事業費に係る人役		0.25	0.20	0.30	0.30

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
生活支援ハウスを指定管理にて継続。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 老人福祉法により規定されている事業。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 老人福祉法により規定されている事業。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 高齢の要保護者の事業。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 今後も4ヶ所で推移。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 入所者数は増加傾向にあり、今後も増加していくと思われる。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。